要保管

BE UP

クライミングテクノロジー
ビーアップ

IST12-2D657IW_rev.0 06-15

3年保証
MADE IN ITALY
EN15151-2:2012 type4
登山用品／ビレイデバイス

ビーアップ取扱説明書

製造元:イタリア・アルデザイン社
(商標名:クライミング・テクノロジー)
輸入販売元:イワタニ・プリムス株式会社
東京都中央区八丁堀4-12-20
電話番号 03-3555-5605
イタリア製　**素材**:アルミニウム合金／**重量**:85g

BE UP/2D657

はじめにお読み下さい

　登山、クライミングは一般的に他のスポーツに比べ、リスクの高いスポーツです。クライミング用品を使用しても登山、クライミングには潜在的な危険が伴います。ご自分自身の安全のため、クライミングを行うかどうかの判断はご自分で下してください。本製品を使用する前には必ず本取扱説明書をよく読み、本製品の特徴や注意事項をよく理解して使用してください。実際の使用の前には本製品の使用方法に十分に慣れることが必要です。また、クライミングに際しては安全確保に対する幅広い知識が必要であることを認識し、考えられうる事故に備えなければいけないことを考慮してください。

　この取扱説明書はご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みいただいた後はいつでもご覧になれる所に保管してください。

⚠ **警告**　本説明書の正しい取扱方法に従わない場合、死亡または重大な傷害を負う恐れがあります。

表示内容

⚠ **危険**:人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容です。
⚠ **警告**:人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ **注意**:人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容です。
⃠ **禁止**:やってはいけないことを表しています。

本製品(ビーアップ)ご使用に際しての注意事項<必ずお読みください>

この注意書は、ビーアップを登山、スポート(スポーツ)クライミングで正しく使用するための注意事項が書かれています。誤った使用方法、不適切な使用方法は、死亡または重傷を負う恐れがあります。この器具を使用する人は、使用方法を習熟しておく必要があります。使用者は使用方法(器具の使用方法および安全確保に関しての正しい措置)についての充分な習得が必要です。本取扱説明書に記載のある正しい方法でのみ使用してください。他の方法による誤った使用方法は禁止いたします。使用者はクライミング、岩登り等での実際の使用における生命および身体に対するリスクをあらかじめ認識してください。正しい使用方法を習得しない、またはリスクを認識しない人、クライミング全般に対する知識を有しない人や安全確保を行えない人は、本製品を使用してはいけません。製造元、販売店、輸入代理店は、誤った使用方法や不適切な使用方法に起因するすべての事故に対し一切の責任を負いません。

本取扱説明書は、登山、クライミング用品の正しい使用方法などについて説明を行うものです。
それらに関する専門的用語が用いられています。語句の内容が理解できない場合は本製品を使用せず、まずクライミング講習等を受講してください。またクライミングには安全を確保するための正しいロープワークが必要です。これらが行えない場合は危険ですのでクライミングを行わないでください。また、クライミングは、クライミングについての知識や技能、およびその安全確保について十分な知識を持ったクライミングパートナーと一緒に行ってください。

⚠ **注意**　説明書は見やすさを優先しており、素手で表記してあります。実際の使用に際してはビレイヤーはクライミングのビレイ用手袋等を使用し、手を保護してください。

1.用途　本製品はシングルロープやダブル･ツインロープを使用できるマウンテニアリング及びクライミング用のビレイ／ラッペルディバイスです。特に山岳地域でのクライミングや、カムディバイスやナッツ、ピトンを使用するトラッドクライミングやマルチピッチクライミング向けの手動でロープの制動をかけるタイプのディバイスです。また本製品はEN 15151-2:2012 type4とUIAA 129の規格に適合した製品です。

図1　仕様

商品名	BE UP（ビーアップ）
品番	CT-3103※（2D657）
重量	85g
ロープ	EN892に適合したロープを使用してください。 ½ ◎ ダブルツインロープ ø7.3〜9mm ① シングルロープø8.5〜10.5mm
ビレイカラビナ	必ずHMS型ロッキングカラビナと一緒に使用してください。

図2　本取扱説明書の表示記号

図3　各部の名称

2.各部の名称（図3.1）　**A)**ブレーキサイド（スタンダードモード）　**B)**ブレーキグルーブ　**C)**ロープスロット　**D)**ブレーキサイド（リデュースモード）　**E)**アンカーホール　**F)**リリースホール　**G)**スチールケーブル

⚠ **危険**　スチールケーブル（**図3.1のG**）には強度がありません。決してプロテクションとして図のように荷重がかかるような方法で使用しないでください。（**図3.4**）（**図9.4**）（**図9.5**）

3.表示

3.1　SIDE　A（図3.2）

イラストはリードクライマーのビレイ、トップロープでのビレイ及びラッペルでの使用方法を表します。

1.商品名、**2.**製造者の商号、**3.**カラビナを通すイラスト、4.ロープを握る手のイラスト、**5.**クライマーのイラスト、**6.**原産国

3.2　SIDE　B（図3.3）

イラストはセカンドクライマー（フォロワー）のビレイでの使用方法を表します。

7.クライマーのイラスト、**8.**ロープを握る手のイラスト、**9.**ロット番号（BBYY: BBは製造バッチ、YYは製造年）、**10.**本製品が準じた規格、**11.**UIAAのロゴ、**12.**適合するロープの種類とそれぞれの径、**13.**使用者は取扱説明書を読み使用方法について熟知する必要があることを示す図（本の形をしたイラスト）、**14.**セカンドクライマー（フォロワー）をビレイする時のカラビナの位置を示すイラスト、**15.**アンカーにセットするカラビナのホールを示すイラスト

4.チェック

実際に使用する前に、すべてのクライミング用器具が最善の状態であることを確認してください。摩耗がひどかったり、ひび割れが見られたり、亀裂が入っていたり、ささくれているような場合は使用を中止してください。特に、

ブレーキグルーブ(**図3.1のB**)やロープが接触するポイント(HMSカラビナを含む)を注意深く確認して下さい。さらに、**図3.5**で示す箇所に鋭利なエッジがないことも確認してください。

⚠ **注意** 購入後の実際の使用前には、本製品の使用方法や機能の確認を安全な環境下でテストを行ってください。クライミング前には、クライマーとビレイヤー間での確認を必ず行ってください。

5.適合性:必ず本製品と適合性を持った用品と合わせて使用してください。

5.1 ロープ

図1で示す通り本製品は、EN892に適合したダイナミックロープ(シングルロープ直径8.5〜10.5mm、ダブル/ツインロープ直径7.3〜9.0mm)を使用してください。ブレーキ性能やロープの繰り出しやすさは、ロープの直径としなやかさに由来します。

⚠ **警告** 濡れた/凍ったロープを使用する場合は通常と制動力及び操作性が異なりますので、実際に使用する前にテストを行い、確認してください。

⚠ **警告** 2本のロープで使用する場合は、必ず同じ直径とコンディションを持つロープを使用してください。

⚠ **警告** ビレイやラッペルを行う際には、必ずグローブを着用してください。

5.2 カラビナ

必ずHMS型ロッキングカラビナと一緒に使用してください。
本製品と同様のクライミングテクノロジー製のコンセプトSGL HCカラビナ(反転防止用ワイヤー付属)と合わせて使用することを推奨します。

⚠ **警告** 異なった特徴を持つカラビナを使用することは、ディバイスの機能を低下または発揮できない恐れがあります。

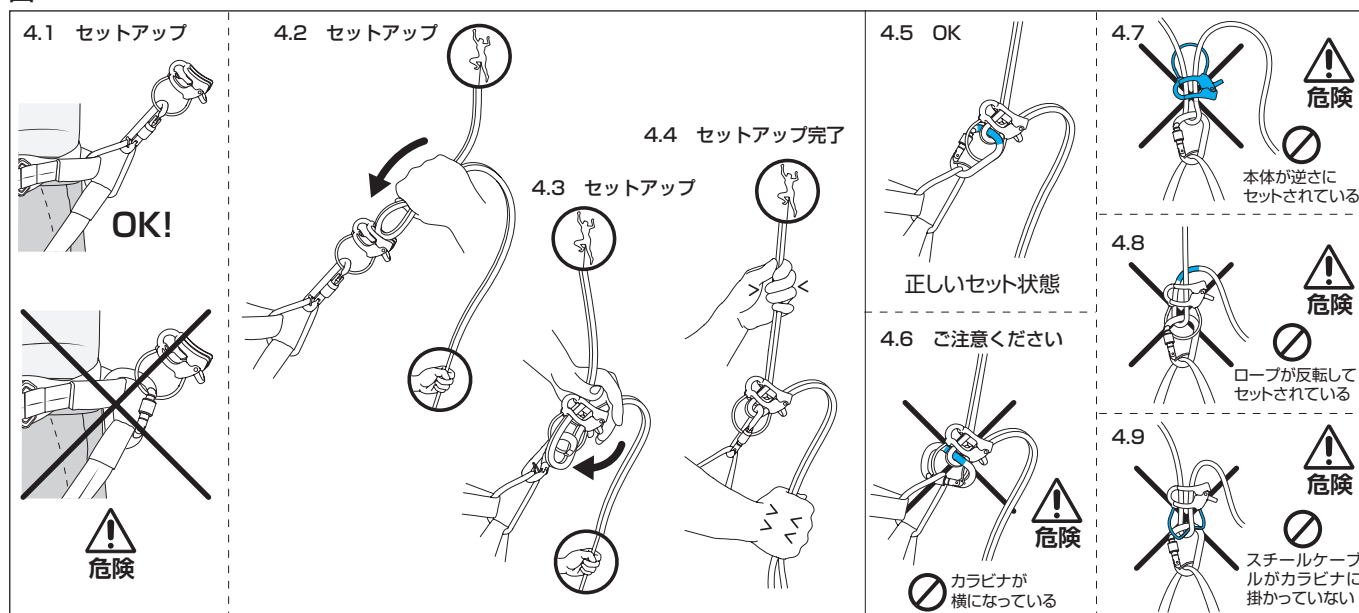
5.3 用語について

以下の本文中で使用する「ロープ」は明記していない限り1本または2本のロープを表します。またダブル/ツインロープを使用する際は、それぞれのロープがそれぞれのブレーキグルーブ(**図3.1のB**)を通っていることを意味します。

6.リードクライマーをビレイする

6.1 ビーアップのセット

ハーネスのビレイループにビレイ用カラビナを取り付け、本製品のスチールケーブルに**図4.1**のようにカラビナを装着します。ロープにループを作りロープスロット(**図3.1のC**)に通した後(**図4.2**)、カラビナをロープに掛けます(**図4.3**)。最後にカラビナのロックゲートを閉め装着は完了です(**図4.4**)。

図4

6.2　事前確認

ビレイヤーはビレイを行う前に下記事項を確かめてください。

·本製品が正しく機能すること

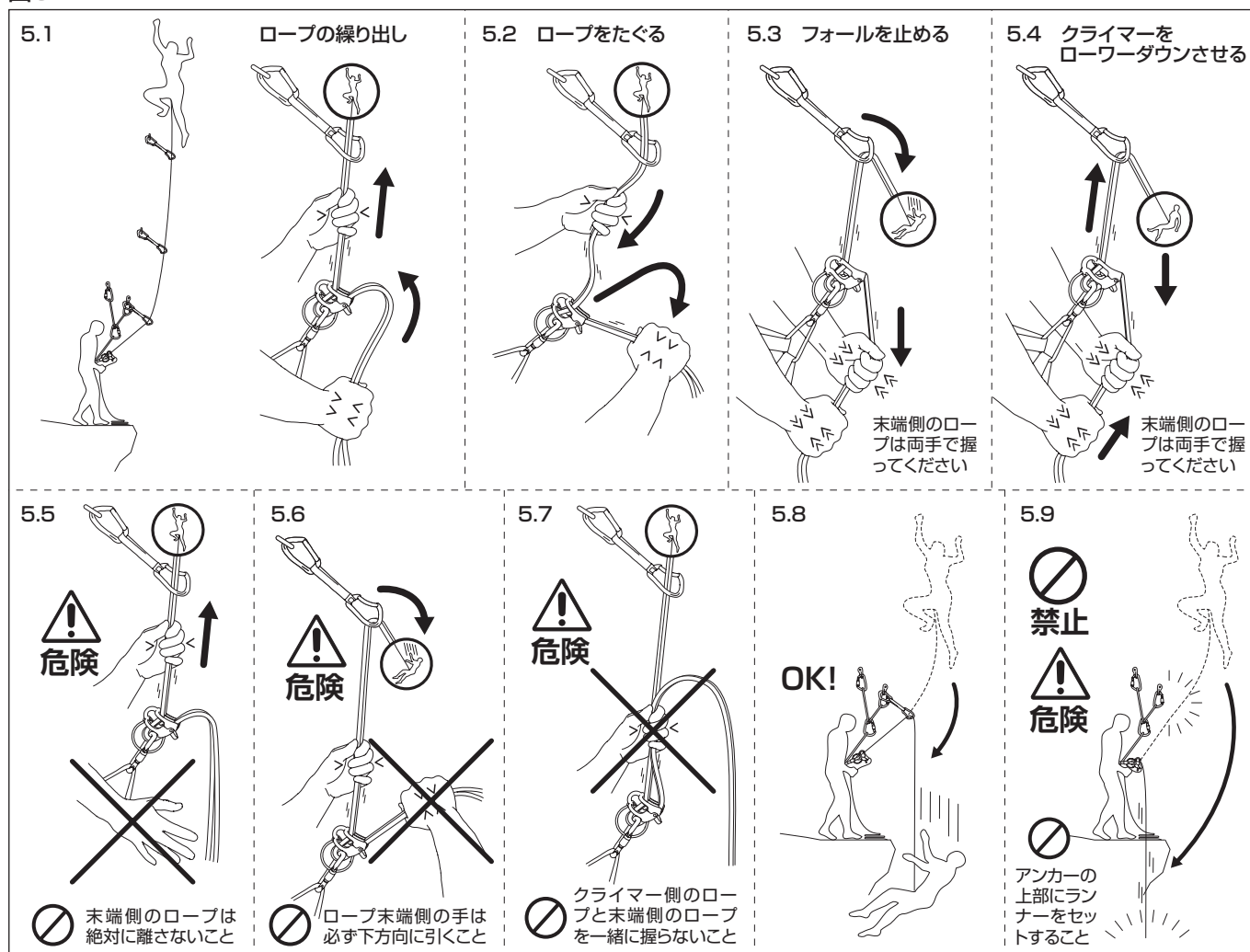
·リードクライマーがハーネスへロープを正しく結んでいること

·ロープが絡まっていない状態であり、末端のみ結び目が作ってあること

·ビレイを行うことに適した場所であること

⚠ **危険**　クライマーのビレイを行っている時、ビレイヤーはロープの末端側から決して手を離さないでください(**図5.5**)。

⚠ **危険**　マルチピッチクライミングを行っているとき、次のピッチを登りだす前に、リードクライマー側のロープは、ビレイヤーのアンカーまたは上部ランナーにセットしたクイックドローに必ずクリップしてください(**図5.8、5.9**)。

図5

6.3　ロープの繰り出し(図5.1)

片方の手でロープの末端側を持ち、本製品を通じてロープを繰り出すと同時に、もう片方の手で握ったクライマー側のロープを引きあげ、クライマーの方向へ繰り出します。この時、末端側のロープから手を離さないようにしてください(**図5.5**)。

⚠ **危険**　2本のロープを使用する時、本製品は片方のロープを固定しながら、もう片方のロープのみ繰り出すことができますが、必ず末端側の2本のロープから手を離さないでください(**図5.5**)。

6.4　ロープをたぐる(図5.2)

クリップの直後など、ロープがたるんだ時は、クライマー側のロープを本製品側へ引き、もう片方の手でロープ末端側を**図5.2**のようにして引きます。

6.5　フォール(墜落)を止める(図5.3)

クライマーがフォール(墜落)した時に、末端側のロープを片手または両手でしっかりと握り、下方向へ引きます。

> ⚠ **危険**　ビレイヤーはロープの末端側を握る手を、決してディバイスより上に上げないでください(**図5.6**)。制動が効かない状態となり大変危険です。

> ⚠ **警告**　本製品は、クライマーのフォール(墜落)の際に自動的にロープの流れを止めるロック(オートブロック機能)が作動する器具ではありません。ビレイヤーが自発的にロープの末端側を握り、引き止める場合にのみロープのブレーキやコントロールが可能となります。

6.6　クライマーをロワーダウンさせる(図5.4)

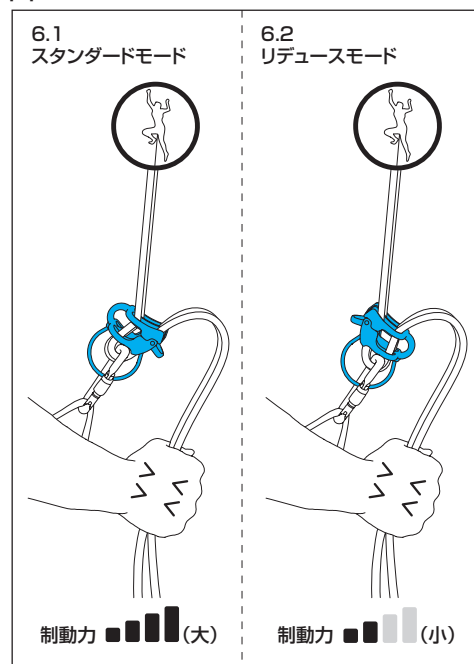
末端側のロープを両手でしっかりと握り、クライマーの墜落を防ぎながら少しずつロープを繰り出し、ゆっくりとクライマーを下ろしてください。

7. 制動力の切り替え

本製品は制動力を切り替えて使用することができます。スタンダードモード(**図6.1**)、リデュースモード(**図6.2**)の2タイプから選択することができます。多くの場面ではスタンダードモード(制動力が大きい)を選択して本製品を使用することを推奨します。リデュースモード(制動力が小さい)は、クライマーとビレイヤーの体重差、ロープの径、ロープ外皮の状態などを考慮して使用する場合があり一般的ではなく限定的な使用方法です。

図6

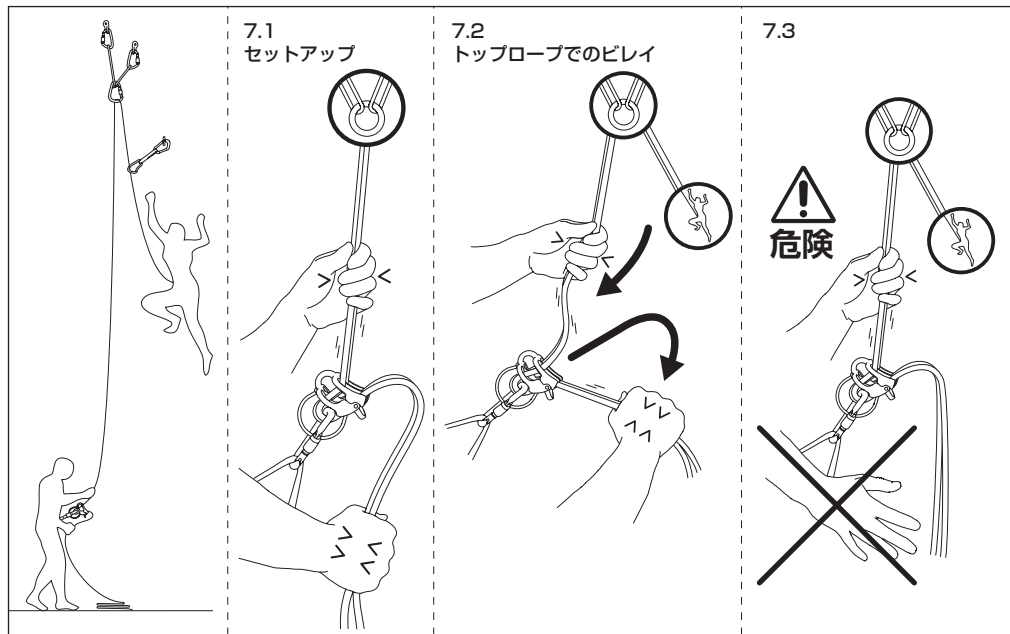
8.トップロープでのビレイ

> ⚠ **危険**　トップロープでのビレイ中であっても、末端側のロープから決して手を離さないでください(**図7.3**)。

8.1　ビーアップのセット(図7.1)

通常はスタンダードモード(**図6.1**)で本製品をセットしビレイしてください。「**7. 制動力の切り替え**」の通り状況に応じリデュースモード(**図6.2**)でのビレイも可能です。

8.2　ビレイ(図7.2)

クライマーが登る間、クライマー側のたるんだロープをたぐり、末端側のロープを引いて常にロープがピンと張った状態にします。

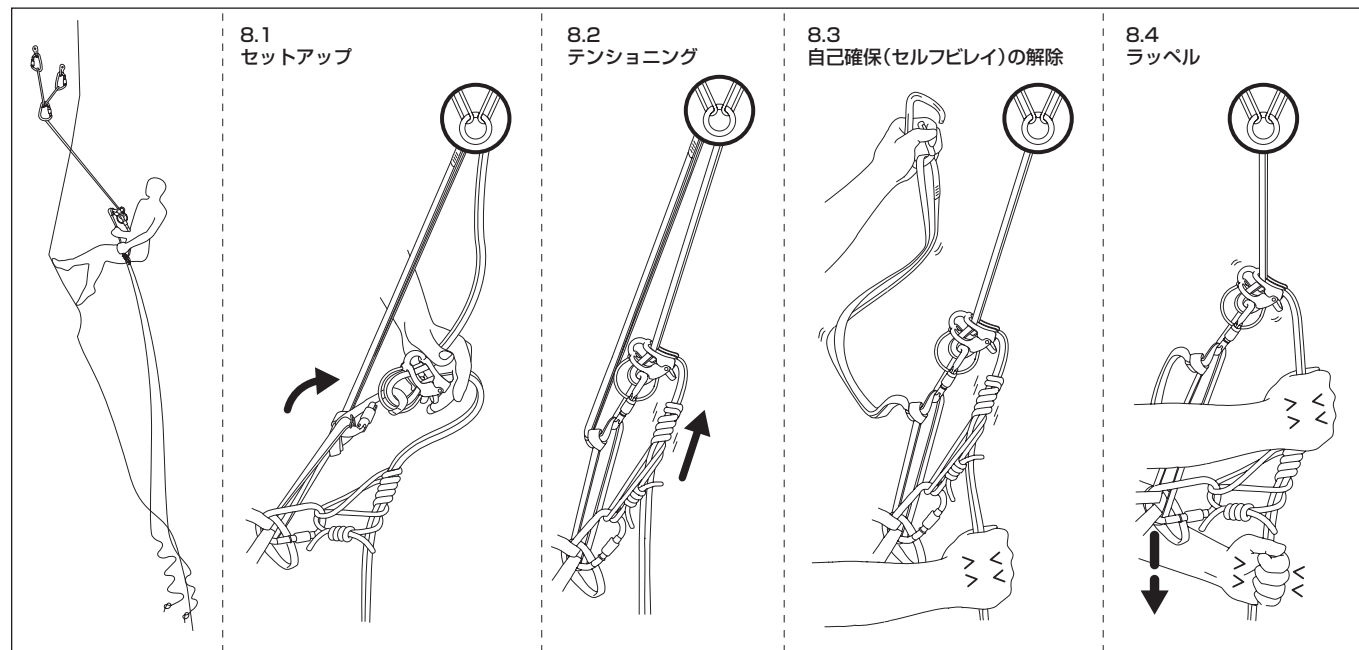
図7

9.ラッペル(懸垂下降)

ラッペルを行う前に、下記のことを必ず確認してください。

- ランヤードを用いてアンカーとハーネスを繋ぎ自己確保を行ってください(セルフビレイ)。
- ロープが絡まっていない状態でセットし、ロープの末端に"すっぽ抜け"防止のため結び目を作ってください。
- ロープにフリクションノットで取り付けたプルージックコードを、ロッキングカラビナを介してハーネスにセットしてください。

9.1　セッティング

ロッキングカラビナを自己確保したランヤードに装着した後、本製品のスチールケーブルに取り付けます。本製品側面のイラスト(**図3.2**)を参考に、ロープをロープスロットに通してロッキングカラビナを掛け、最後にロックゲートを閉めます(**図8.1**)。

図8

注意　ラッペルを行う時に限り、本製品側面のイラスト“5-クライマー”(**図3.2**)は、アンカーの位置･方向を示します。

9.2　テンショニング／ランヤードの取り外し

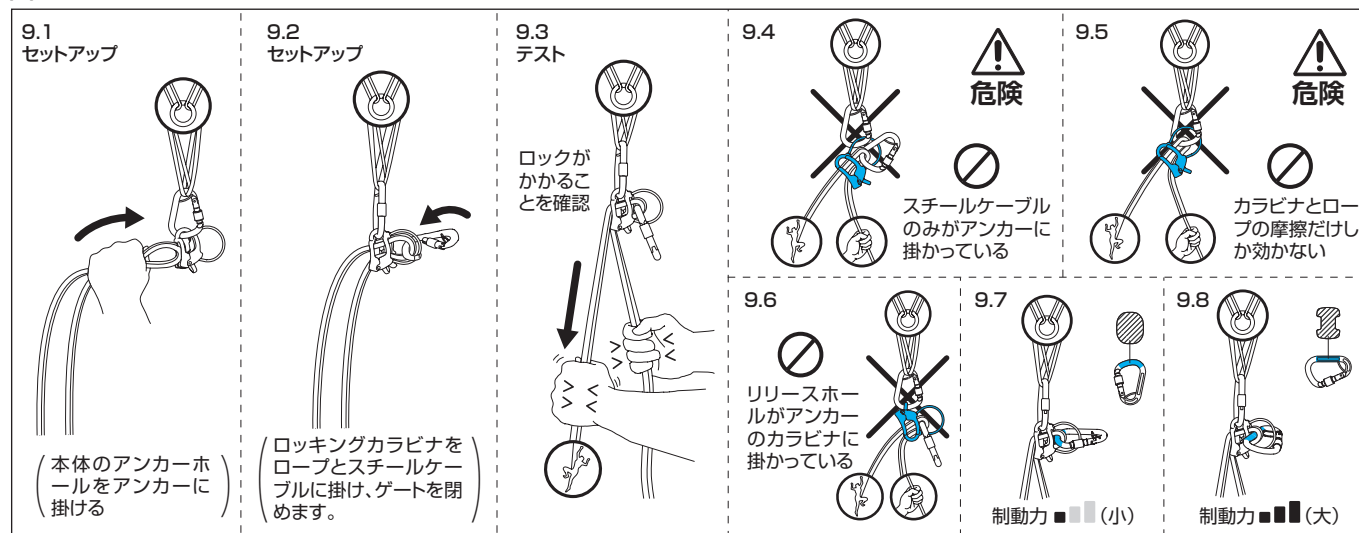
プルージックコードを本製品の近くにずらした後(**図8.2**)、テンションを掛けフリクションノットが正しく効いていることを確認します。そして、ロープの末端側を片方の手で握ったまま、自己確保を行っているランヤードのロッキングカラビナを取り外します(**図8.3**)。

9.3　ラッペル(図8.4)

片方の手でフリクションノットを握り、もう片方の手でロープの末端側を握ってフリクションノットの方向へ押し上げながら下降スピードを調節します。

10.1人または2人のセカンドクライマー(フォロワー)のビレイ

危険　ビレイ中は末端側のロープから決して手を離さないでください。

図9

10.1　セッティング

アンカーのマスターポイントにHMS型ロッキングカラビナを掛けた後、本製品のアンカーホール(**図3.1のE**)に通しロッキングゲートを閉めます。本製品側面のイラストSIDE B(**図3.3**)を参考に、ロープをロープスロットに通します(**図9.1**)。ビレイカラビナをロープスロットに通したロープと、スチールケーブルの両方に掛け(**図9.2**)、ロックゲートを閉めます。

> ⚠ **危険**　必ずセカンドクライマー側のロープが、末端側のロープの上に位置するようにしてください。またロープ(1本または2本)とスチールケーブルがビレイカラビナに通してあることを確認してください。

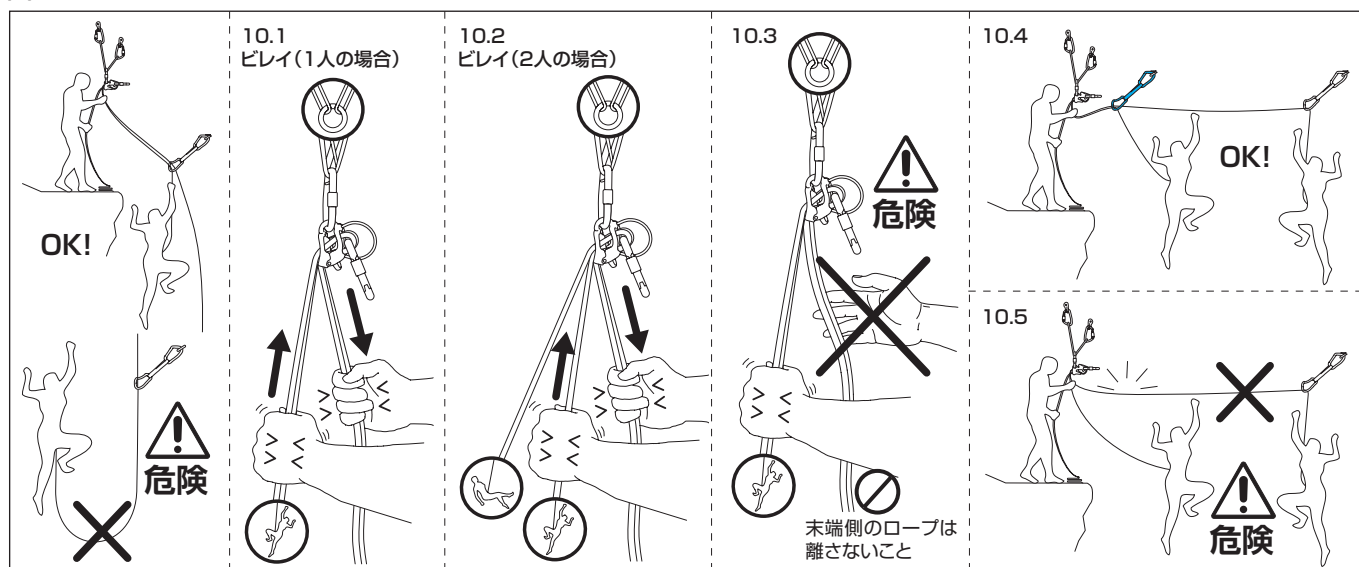
10.2　テスト(図9.3)

セカンドクライマー側のロープを下方向にひいて、正しくセルフロッキングシステムが機能しているか確認を行ってください。

10.3　セカンドクライマーのビレイ(図10.1、10.2)

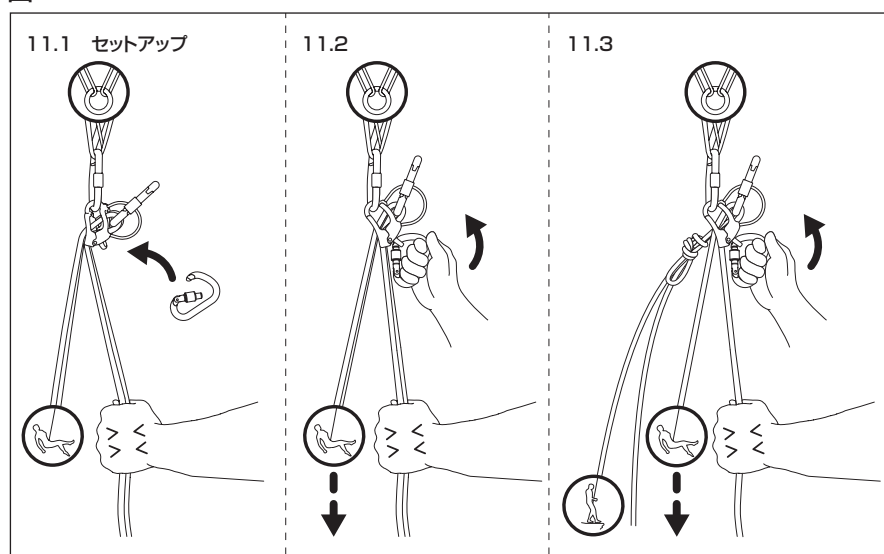
両手を使ってセカンドクライマー側のロープを**図10.1、10.2**のように正しく引き上げてください。

> ⚠ **危険**　トラバースする箇所がビレイポイントに近い場合(**図10.4**)、アンカーにできる限り近い箇所でランナーを取りセカンドクライマー2人のロープを掛けることを推奨します。万が一1人のセカンドクライマーがロープにぶら下がった場合でも、セルフロッキングシステムは正しく機能します。

図10

10.4　ロープのリリースとロワーリング

セカンドクライマー(1人)がロープにぶら下がっている場合、本製品はテンションの解除を行ったり、セカンドクライマー(1人)をロワーダウンさせたりすることも可能です。

まずリリースホール(**図3.1のF**)にHMSカラビナを通します(**図11.1**)。そして片方の手でロープの末端側をしっかりと握り、そのカラビナを上方に押し上げるとレバーのように作動し、本製品を傾けることでロープをリリースすることができます(**図11.2**)。

図11

> ⚠ **警告**　絶対にロープのリリースを行うために他の道具(スリングやコードなど)を使用しないでください。いかなるときもロープの末端側から手を離さないでください。

10.5　ロープのリリースとロワーリング（セカンドクライマーが2人の場合）
2人のセカンドクライマーがいる状態で、どちらか一方のクライマーのロープのみリリースすることができます。リリースしないロープの末端側に本体のロープスロットをくぐり抜けないような大きな結び目を作り（**図11.3**）、「**10.4　ロープのリリースとロワーリング**」の項と同様にロープをリリースまたはセカンドクライマーをロワーリングさせます。

図12

11.その他一般注意事項
本製品に腐食やその他のダメージが見られる場合は廃棄し、新しいものに買い換えてください。汚れは使用のつどに落とし、必要に応じてきれいな真水で洗い流し、水をやわらかい布で拭き取り、よく乾燥させてください。海岸付近で使用した際には塩分を良く落とすことが必要です。ロープにダメージを与えないよう、器具の表面は常にバリ、傷、砂等の付着がないことを確認してください。本製品に改造を加えないでください。改造は本製品の本来の機能を損ないます。
傷つき防止のため、他のものと分けて保管･運搬してください。保管の際は汚れを落とし、よく乾燥させた後、冷暗所で行ってください。高温になるところ、薬品等に触れる恐れのあるところには絶対に保管しないでください。ダメージを与えるような他の鋭利なもの、硬いものと一緒に保管、運搬しないでください。濡れたまま保管しないでください。塩分を含んだ空気に触れないようご注意ください。その他器具を傷めないよう運搬には細心の注意を払ってください。特に夏季の車内は高温になりますので、車の中に放置しないでください。直射日光にあたる場所には保管しないでください。

12.製品寿命
製品寿命は使用の頻度や使用方法、保管状況によって異なります。また、大きな衝撃を受けた場合、使用時の気候等、その他多くの要因によって変わります。適切なお手入れと保管と運搬は製品を長持ちさせます。なお、プラスチック部品は使用頻度に関係なく製造から10年程度で劣化します。製造から10年経った製品は、ダメージがなく劣化していないように見えても買い換えるようにしてください。また、クライミング技術は常に新しい理論と実技が適用されます。クライマー、ビレイヤー等、本製品の使用者は安全確保に対し常に新しい情報を入手し、正しく安全な方法でクライミングを行ってください。本製品の使用者は、使用前、使用中、使用後には必ず本製品、また本製品と一緒に使用するクライミング用品が正常に機能することを確認してください。また毎年最低1回（頻繁に使用した場合、過酷な状況下で使用した場合はさらに短い期間において）は、クライミングインストラクター等の有資格者から、本製品の使用方法が適切か、器具が正常に機能し、安全を確保できる状態にあるかのアドバイスをもらい、確認を行ってください。なにか製品に不具合が生じていると思われる場合は、本製品を廃棄し、新しいものに買い換えてください。

13.保証について
本製品の製造またはその素材に起因する不良については三年間の保証が有効です。お買い上げいただいた際のレシートは製品の保証書の代わりになるものですので、必ず本取扱説明書と一緒に大切に保管してください。
次の場合、保証は有効ではありません
1.お買い上げ後の不適切な輸送、移動時の取り扱いが不適当なために生じた故障･損傷 2.通常使用で発生する傷、磨耗、コーティングのはげなどの外観上の変化 3.不適切な保管方法や誤った使用方法や不注意によって起因した故障･損傷 4.改造、不当な修理による故障･損傷 5.火災･地震、水害、その他天災事故による故障･損傷 6.または前述の事項に準じたその他の要因によるもの
保証期間後の修理･点検等についても本書をご提示ください。

Manufacturing of this "PPE" controlled by
AFNOR CERTIFICATION
NOTIFIED BODY "0333"
11, rue Francis de Pressensé
FR-93571
LA PLAINE SAINT-DENIS CEDEX
FRANCE

"PPE" - TEST MADE BY

NOTIFIED BODY "0082"
BP 3-33370
ARTIGUES-PRES-BORDEAUX
FRANCE

ビーアップ取扱説明書　BU1
発行日　2015年6月30日
発行者　イワタニ･プリムス株式会社
東京都中央区八丁堀4-12-20
電話番号 03-3555-5605